

WATER REVIEW 2024

FROM TORONTO

2024 国際水協会 (IWA) 世界会議・展示会 速報 Vol.1 2024年8月13日(火)

水マネジメントの未来へ

IWA トロント世界会議・展示会が開幕



カナダ・トロントで開催した IWA 世界会議・展示会の開会式 現地の神聖なる儀式で5日間の会議成功を祈った

世界の水専門家が集結

国際水協会 (IWA) の 2024 年世界会議・展示会が 8 月 11 日、カナダ・トロントで開幕した。15 日までの会期中、世界各国の上下水道、水環境などに関する専門家が一堂に会して議論を繰り広げる。今回のテーマである「Shaping the future of water management (水マネジメントの未来を形作る)」に関連した約 100 の技術セッション、約 60 のワークショップ、約 400 篇のポスター発表が行われる。

また同時開催の展示会には、200 以上の出展者が参加。日本からは「TOKYO Pavilion」として東京都水道局・下水道局が出展する。

11 日には、開会式とウェルカムレセプションが開催された。IWA のカラ・ヴァイラヴァムシー事務局長が司会を務め、シェリー・リン・ヒル氏 (トロント先住民族第 59 代首長)、トム・モレンコフ氏 (IWA と会長)、オリビア・チョウ氏 (トロント市長)、ピーター・ヴァン・ローゲム氏 (会議議長)、エヴェリン・ヴォルケ氏 (ゲント大学教授)、パティ&グレン・ダイガー氏 (IWA 新興水リーダー寄付募金)、ドゥライエ・コネ氏 (ビル&メリнда・ゲイツ財団水・衛生・衛生担当暫定局長)、マイク・マクガン氏 (XylemSVP 兼社長)、ウルリク・ゲルノフ氏 (Grundfos グループ執行役員最高執行責任者) ーがあいさつに登壇。

このうち、IWA のトム・モレンコフ会長は「この分野で働く多くの人たちが公衆衛生と環境成果に情熱を注いでおり、水に対して特別で感情的なつながりを持っている。知識の共有で形成されるグローバルネットワークが社会的価値だけでなく心からのやりがいをもたらすと信じている」と話した。

チョウ市長は、会議で共有された議論とアイデアは水資源を評価・保護する未来を形作る上で役立つとしながら、「われわれが地球に住める唯一の理由は水であり、無くなれば生き残ることはできない。水は最も神聖なものの一つ。全員が水から来ていることを尊重し、全ての人にとって持続可能な未来を築いていこう」と呼びかけた。

今回の世界会議・展示会委員会の共同議長を務めるエヴェリン・ヴォルケ教授は「扱われるトピック範囲は広いが、スペシャリストだけでなくジェネラリストも揃っている。この会議を自分自身の専門分野における素晴らしい学習の機会として体験してほしい」とした。

IWA アワードを表彰

11 日の開会式では、2024 年 IWA アワードの授賞式が行われた。アワードは、優れた水管理と実践、革新的な考えやソリューションに贈られる。

授賞式では、IWA のトム・モレンコフ会長から 3 部門 (ヤング・リーダーシップ・

アワード、ジェンダー多様性と水賞、IWA 世界水賞) の受賞者に対して記念の盾が贈呈された。

〈受賞者の声〉

【若手リーダーシップ賞=サブリーナ・ラシド・シェオンティ氏】

私たちの水の未来を形作るために絶えず働いているリーダーの前で受賞できて光栄です。生まれ育ったバングラデシュは多くの水問題で苦しんでいる国のため、国最初の水道会社設立の目的は安全な飲料水へのアクセスを提供するだけでなく、声なき人々の力になることです。

【ジェンダー・ダイバーシティ・ウォーター賞=ジュリエット・ウィレッツ氏 (シドニー工科大学教授)】

IWA がジェンダーとダイバーシティに価値を与えている事実が前進に寄与するものになることを願っている。女性として成功し、一所懸命に働き、家族を持ちながらバランスを保つにはパートナーの助けがなければできなかった。最も権威ある賞に辿り着くことができうれしく思う。

【IWA 世界水賞=ジョーン・ローズ氏 (ミシガン州立大学博士)】

このような賞はキャリアを通じた多くの方の協力がなければ得られなかった。水の世界と一緒に育ってきた友人や知り合いに特別な感謝を贈りたい。